

3月	豊川 愛護モニター報告	区間	右岸 0.8km ~ 7.2km
----	-------------	----	------------------

## 【豊川の堤防 雑感】

今回は、吉田大橋の上流右岸の堤防一帯を見て感じたことを報告します。

### ゴミのポイ捨て

堤防斜面の外側は草が短く刈り取られ、ゴミがほとんどなくきれいな状態であるのに対し、内側斜面は手入れ前で伸びたままの草の中に多くのゴミが散乱しているという、全く対照的な状況でした。外側は草が短いので、除草後に捨てられたゴミも風で吹き飛ばされたり、近隣の住民の方々が片付けられたりできれいなのかも知れませんが、いずれにしてもゴミのポイ捨てはなくしてもらいたいものです。美しい豊川の景観も足元を見ると台無しです。買い食いをしながら自転車に乗り、包装袋を当然のように道路に捨てる子供、後ろに子供を乗せた車内から空き缶を捨てる親など、何度か無作法は目にしてきましたが、このように育って大人になっていく者がいる限り「ポイ捨て」はなくならないと思います。今度の政権では「道徳教育」を強化するとか言っていますが、まず幼少期から親、あるいは周囲の大人が日々の生活で「NO」を厳しく言わない限りなかなか根本的には改善されないと思います。堤防斜面の除草の頻度をもう少し増やして常に草が短い状態にし、ポイ捨て者の愚行の結果をさらけ出すようにすれば少しは対策となるかもしれませんが・・・。

外側斜面の状態



除草が行き届き、ゴミもなくきれいです

内側斜面の状態



除草前でゴミが多いです

このように大きなゴミも（車の部品？）

### 刈草の活用



当愛護モニター開始に先立っての説明会で豊橋河川事務所からいただいた資料の中に、「刈草の活用」のパンフレットがありました。堤防の除草は上記ゴミ対策だけでなく、堤防の安全管理上でも定期的に行う必要があるとのことで、その刈草を焼却処分せずに有効活用しようという取り組みです。除草剤不使用の安全な乾燥された刈草は希望者に無償で提供され、家畜の飼料や畑の敷材などに利用されるとのことです。焼却費やその際出るCO2の削減、農業の活性化、経費削減など、「一挙数得」の大変合理的ですばらしいシステムを運用されていると思います。